

川崎市立小中学校で、勤務規定に違反してICカードによる出退勤の登録を10日以上も怠っている教職員が14人もいることが5日、明らかになった。この日の市議会決算特別委員会で、三宅隆介議員（無所属）の質問に市が答弁した。

市教委によると、今年6月の1か月間について出退勤の状況を調査して判明した。登録をしていない日数が

小中教職員14人 出退勤登録怠る

川崎

が22日に及ぶ管理職もいたという。教職員の出退勤は各学校で管理しており、現場の運用の甘さが露呈した格好だ。

この日の決算委で、小田嶋満教育長は「教員の意識レベルに課題があり、誠に遺憾だ」と答弁。全教職員が確実に取り組むよう周知徹底を図るとした。登録しなかった教職員の理由についても今後、詳しく調べる方針。